

2004年第5週報告分

- ・発 生 動 向 の 概 況
- ・定 点 医 療 機 関 か ら の コ メ ン ト
- ・全 数 届 出 患 者 報 告 数
- ・五 類 定 点 患 者 報 告 数
- ・疾 病 別 グ ラ フ (五 類 定 点 週 報 告 分)
- ・病 原 体 検 出 情 報 (表 ・ グ ラ フ)
 － インフルエンザ －
- ・年 齢 階 級 別 報 告 数
- ・保 健 所 別 報 告 数
- ・保 健 所 別 報 告 数 (定 点 当 たり)

感染症豆知識

- ・風 疹

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電 話 : 03-3363-3213(直通)

F A X : 03-5332-7365

E-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス : idsc.tokyo-eiken.go.jp/



発生動向の概況 5週分

(全数報告の疾患)

- ・A型肝炎が1件報告された。推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染である。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地はインドネシア、不明で、推定感染経路はそれぞれ経口感染(水)、不明である。
- ・ウイルス性肝炎が1件報告された。B型で推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・HIV感染症が6件報告された。無症候性キャリア5件、AIDS1件で、推定感染経路は同性間性的接触3件、異性間性的接触1件、両性間性的接触1件、不明1件である。

追加報告(平成15年51週、平成16年2週)

(51週追加分)

- ・アメーバ赤痢が1件追加報告された。推定感染地は国内で、推定感染経路は同性間性的接触である。
- ・HIV感染症が1件追加報告された。無症候性キャリアで、推定感染経路は同性間性的接触である。

(2週追加分)

- ・アメーバ赤痢が1件追加報告された。推定感染地は国内で、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・HIV感染症が1件追加報告された。AIDSで、推定感染経路は同性間性的接触である。
(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・インフルエンザの増加が続いている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、突発性発疹の報告も多い。

(検出された病原体)

- ・インフルエンザ、肺炎など18名の咽頭拭い液からA香港型のインフルエンザウイルス遺伝子が検出された。
- ・気管支喘息1名の咽頭拭い液からRSウイルスの遺伝子が検出された。
- ・急性気管支肺炎1名の咽頭拭い液からマイコプラズマの遺伝子が検出された。
- ・発熱、呼吸障害の新生児の咽頭拭い液からエンテロウイルス遺伝子が検出された。
- ・けいれん2名のうち1名からヒトヘルペスウイルス6型、1名から同7型の遺伝子が検出された。
- ・発疹1名の咽頭拭い液からパルボウイルスB19の遺伝子が検出された。
- ・水痘1名の咽頭拭い液から水痘帯状疱疹ウイルスの遺伝子が検出された。
- ・急性胃腸炎患者4名の便からノロウイルスの遺伝子が検出された。そのうち1名からはアデノウイルスの遺伝子も検出された。

- ・耳下腺炎1名の咽頭拭い液からムンプスウイルスの遺伝子が検出された。
- ・リンパ節炎1名の咽頭拭い液からEBウイルスの遺伝子が検出された。
- ・急性扁桃炎、喘息様気管支炎各1名の咽頭拭い液からアデノウイルス2型が分離された。
- ・ウイルス性胃腸炎集団発生は6事例の患者検体16件からG型の、3事例の患者検体5件からG型ノロウイルスの遺伝子が検出された。G型が検出された2事例はシジミを、G型が検出された1事例はカキを喫食している。
- ・菌株で搬入されたMRSA3株のコアグラ-ゼ型は型1件、型1件、型1件であった。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌3株のT型は3型1件、12型2件であった。
- ・保健所等から搬入された血清60件中17件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・保健所等から搬入された頸管拭い液5件中1件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

定点医療機関からのコメント

大田区

- ・インフルエンザ30例すべてA型です。
- ・インフルエンザ3例すべてA型。

世田谷

- ・インフルエンザ9名、うち迅速テストA型7名検出。
- ・インフルエンザ(55名)急増してます。A型のみ。
- ・インフルエンザ48名、うちB型1名。
- ・インフルエンザ43名のうち、12歳女、9歳男、5歳女、いずれもワクチン2回接種済。いずれも軽症。すべて検査でA型でした。
- ・インフルエンザ2名ともA型。

新宿区

- ・インフルエンザ72名、B型1歳男児1人、残りすべてA型。

中野区

- ・インフルエンザはすべてA型です。

台東

- ・インフルエンザすべてA型です。
- ・インフルエンザすべてA型です。

三鷹武蔵野

- ・49件中44件はA型インフルエンザ。残り5件は不明。

全数届出患者報告数 2004年 5週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		2週	3週	4週	5週	年累計	5週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ						2	2
	細菌性赤痢	4	1	2		8		26
	ジフテリア							
	腸チフス							1
	パラチフス						1	1
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1		4	3	31
四類	E型肝炎							(1)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		1	2	(1)	(8)
	エキノコックス症						4	4
	黄熱							
	オウム病						1	4
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病			2		2	3	33
	デング熱		1			1		1
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ポツリヌス症								
マラリア			1		1		3	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1				1	1	11	
レプトスピラ症								
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	4	6	2	15	5	39
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		1	1	3	1	19
	急性脳炎							
	クリプトスポリジウム症		1			1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病							14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	1	3
	後天性免疫不全症候群	7	7	5	6	25	7	50
	ジアルジア症	1				1		
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		1		2
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	2	2		5	7	46
	破傷風						1	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							4

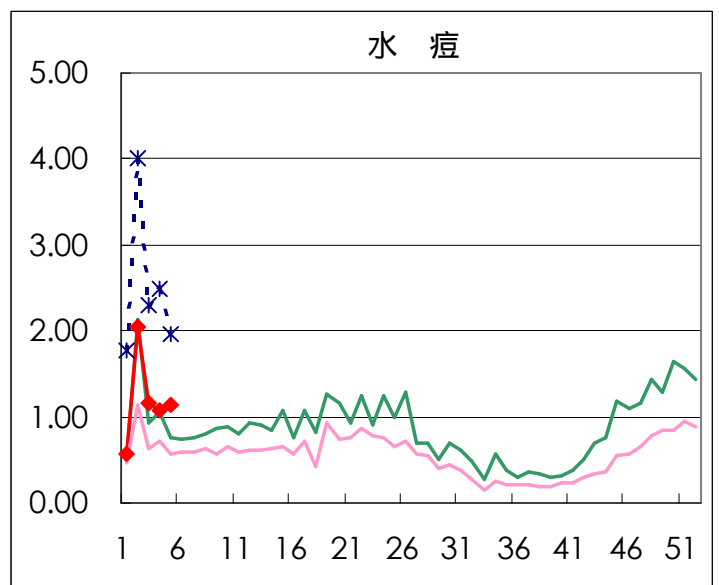
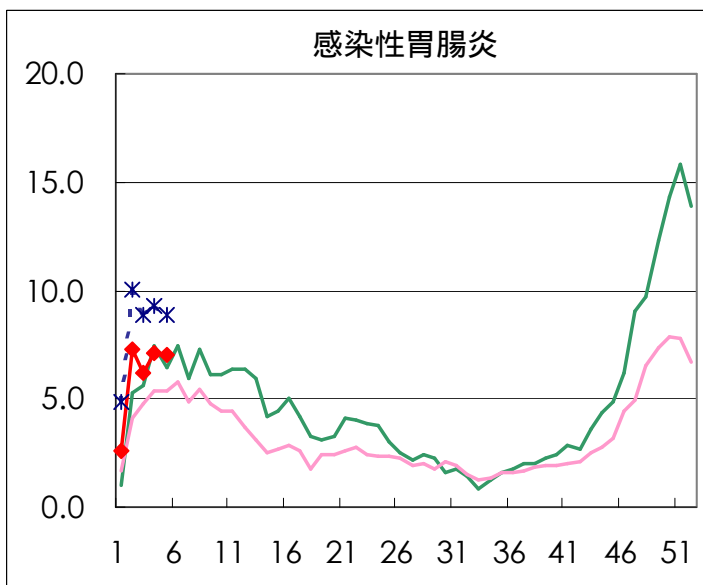
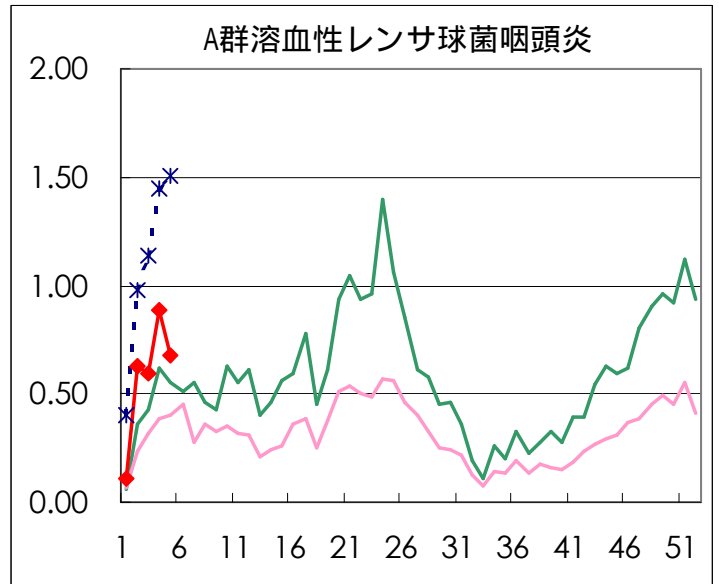
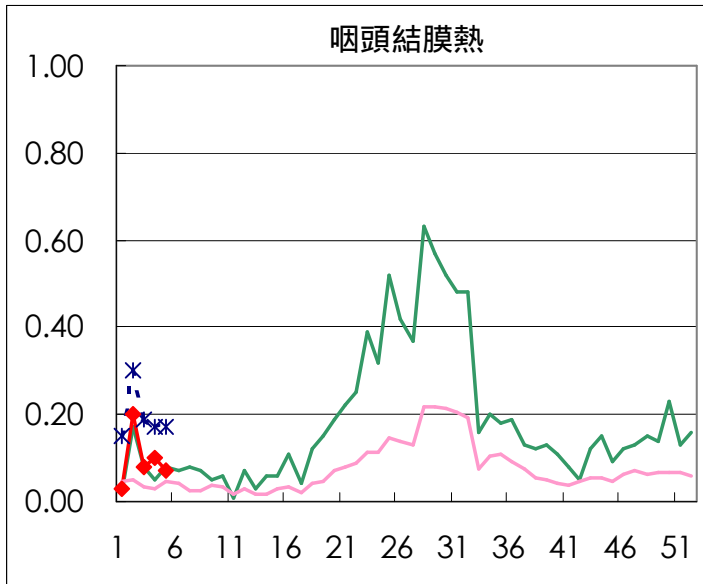
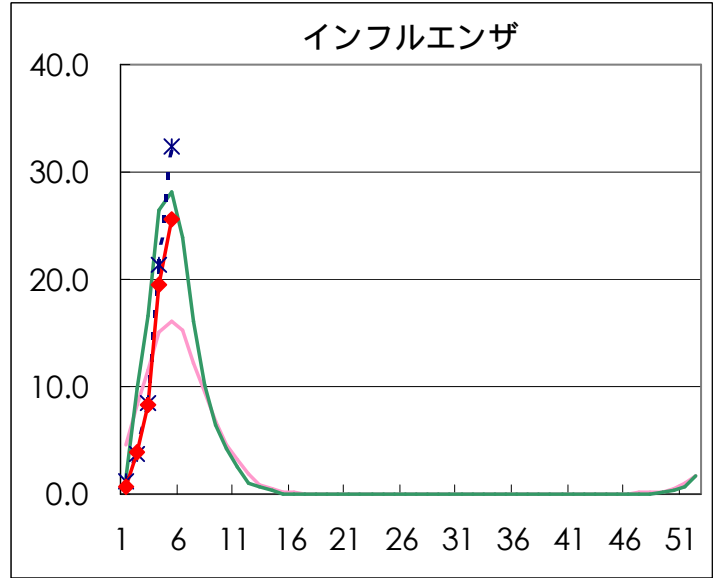
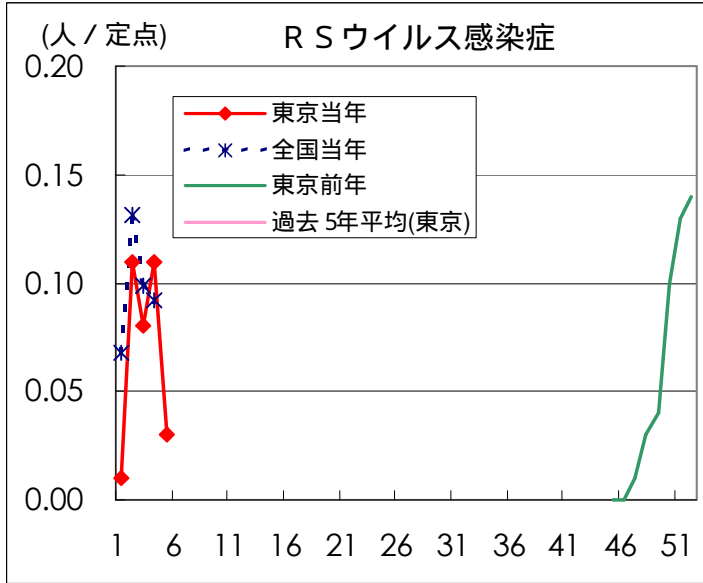
カッコ内の数値は前週分である(2004/2/6集計)。

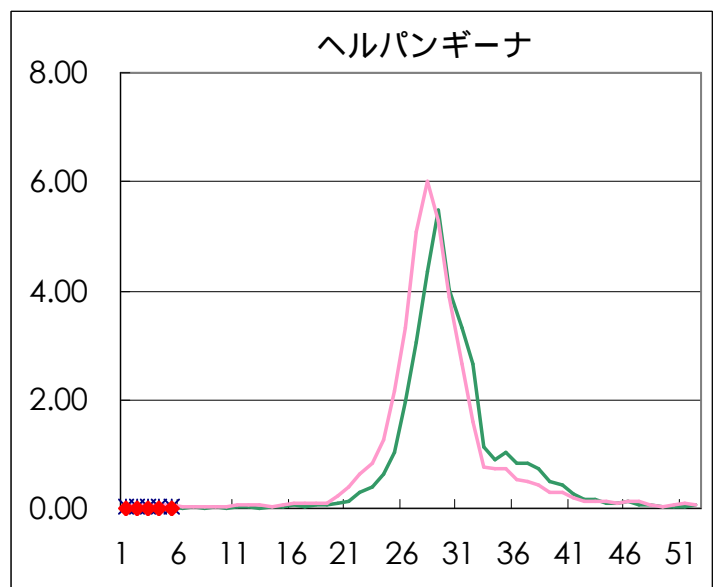
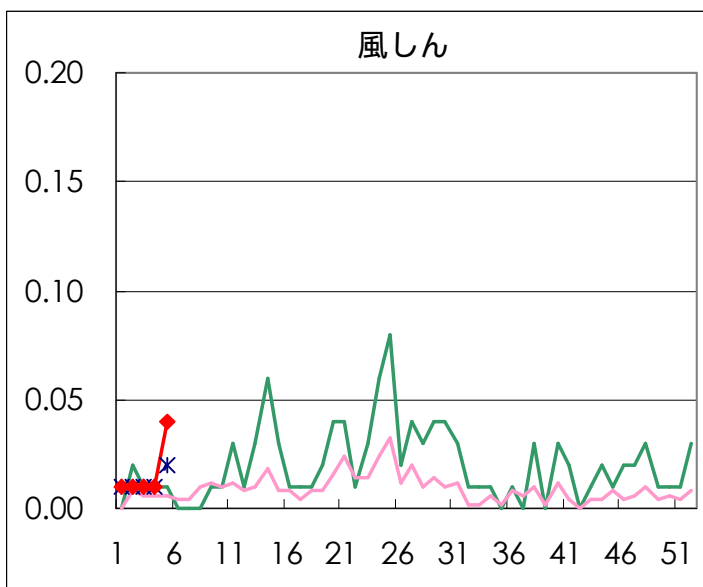
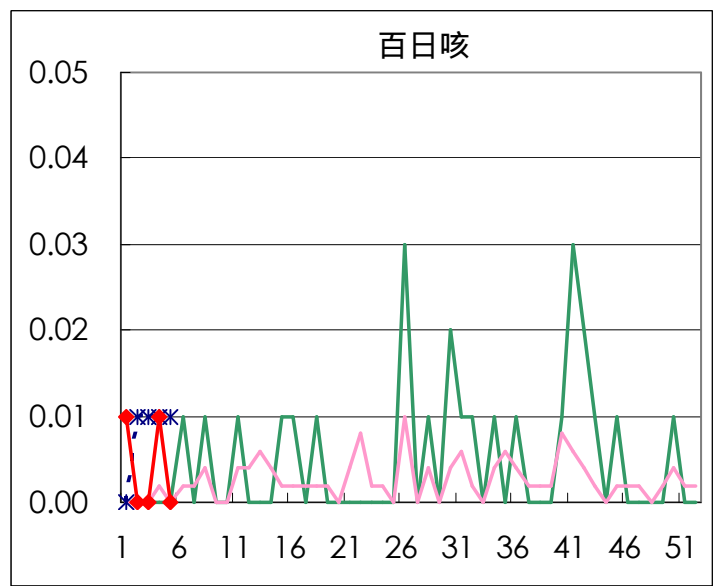
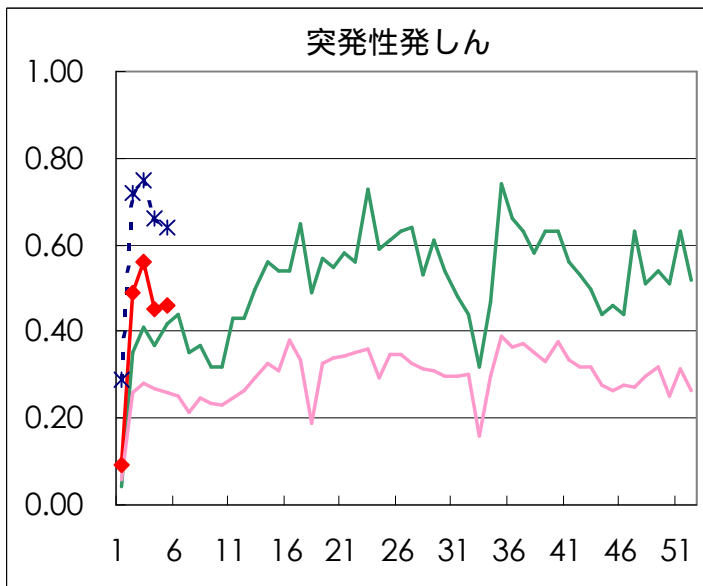
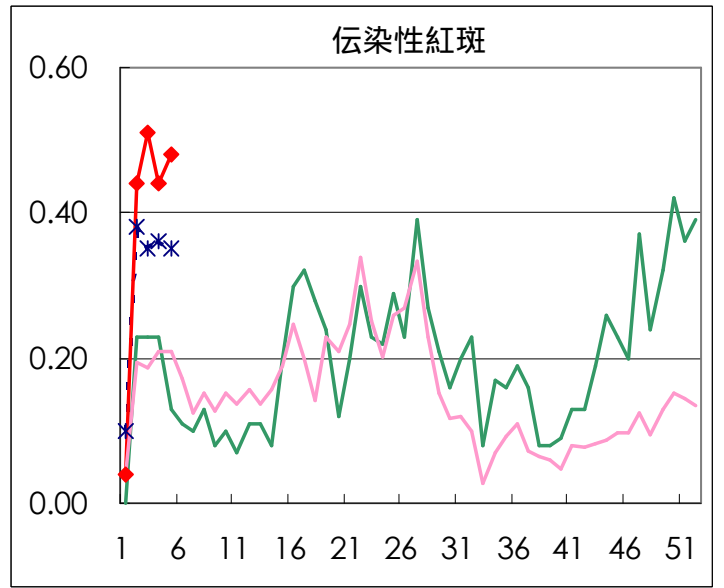
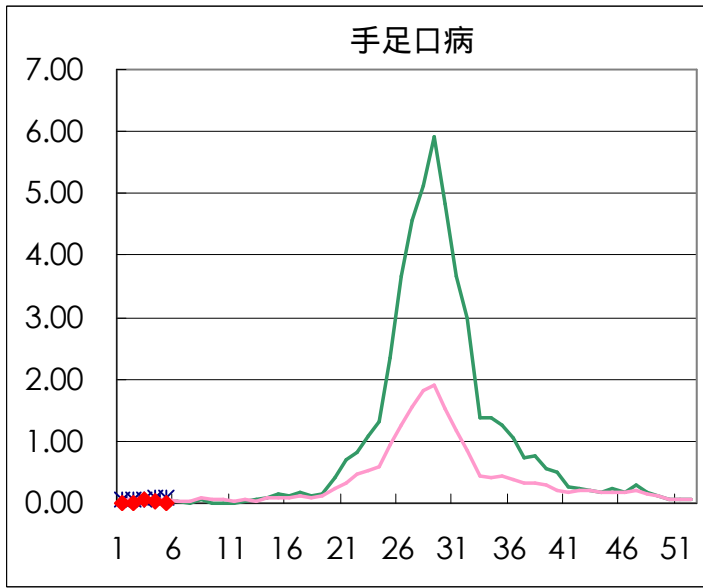
五類定点患者報告数（男女別）

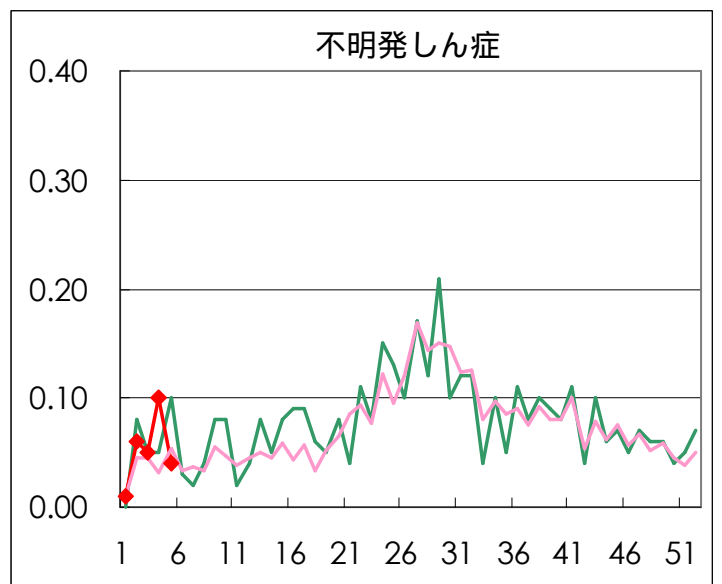
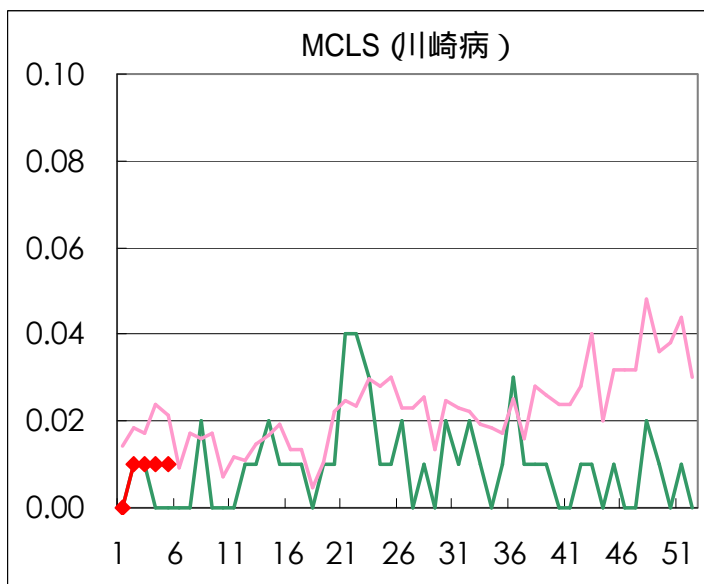
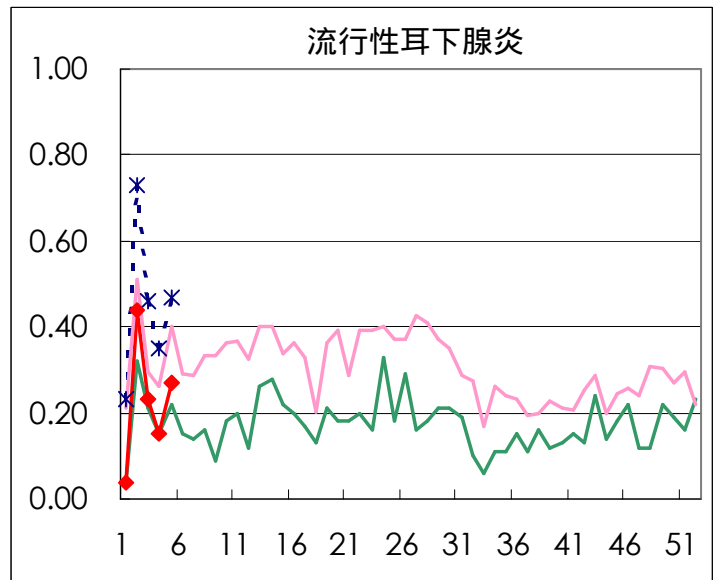
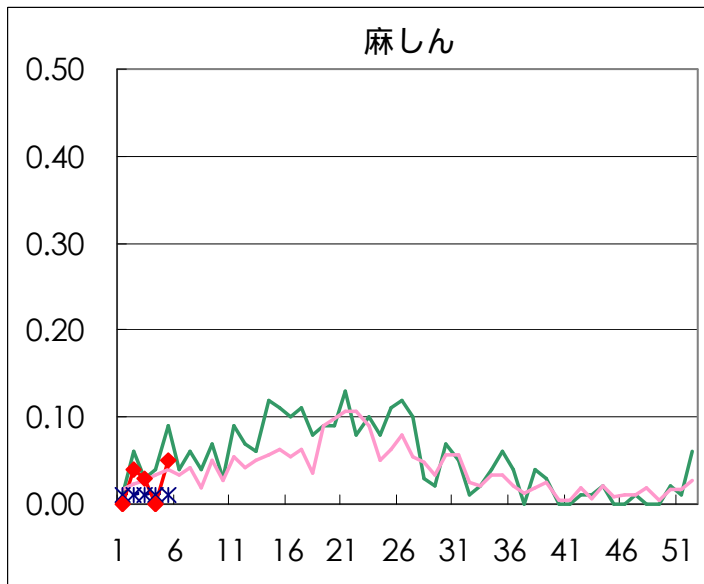
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		2	3	4	5		
RSウイルス感染症	男	7	9	8	4	28	29
	女	8	3	7		18	19
インフルエンザ	男	379	777	1769	2312	5,237	5,296
	女	302	698	1702	2240	4,942	5,006
咽頭結膜熱	男	16	7	8	6	37	39
	女	13	4	6	4	27	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	50	48	74	46	218	224
	女	40	36	53	51	180	189
感染性胃腸炎	男	501	431	513	511	1,956	2,148
	女	528	447	496	493	1,964	2,137
水痘	男	149	77	91	97	414	457
	女	140	86	63	63	352	388
手足口病	男	1	2	2	2	7	8
	女	1	5	3		9	9
伝染性紅斑	男	35	35	31	29	130	134
	女	28	37	32	39	136	138
突発性発しん	男	38	34	28	40	140	147
	女	32	45	36	26	139	145
百日咳	男			1		1	1
	女						1
風しん	男	1	1	1	2	5	6
	女			1	3	4	5
ヘルパンギーナ	男	1	1			2	2
	女	1			2	3	3
麻しん(成人以外)	男	2	4		5	11	11
	女	3			2	5	5
流行性耳下腺炎	男	31	19	12	21	83	87
	女	31	14	9	17	71	72
不明発疹症	男	4	6	9	2	21	22
	女	5	1	5	4	15	15
MCLS	男	1	2			3	3
	女			1	1	2	2
急性出血性結膜炎	男				1	1	1
	女						
流行性角結膜炎	男	13	9	7	7	36	36
	女	10	7	5	3	25	25
細菌性髄膜炎	男						
	女			1		1	1
無菌性髄膜炎	男		1		1	2	2
	女				1	1	1
マイコプラズマ肺炎	男	1			2	3	3
	女				1	1	2
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

疾病別グラフ (五類定点週報告分)

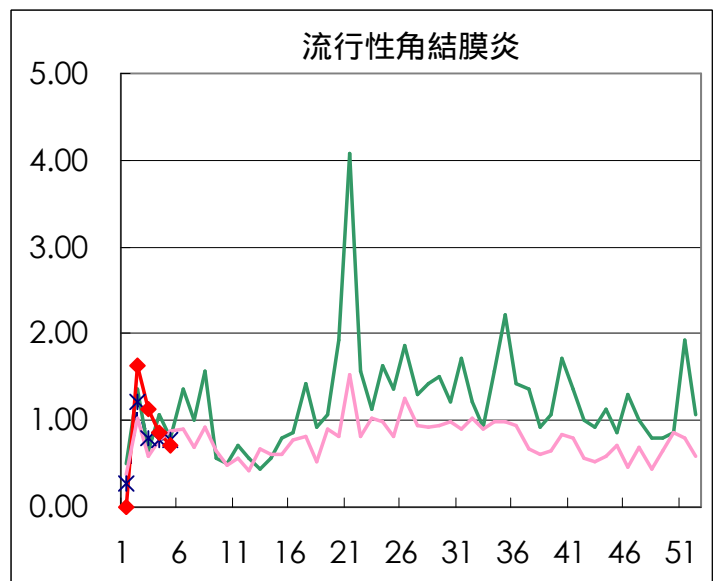
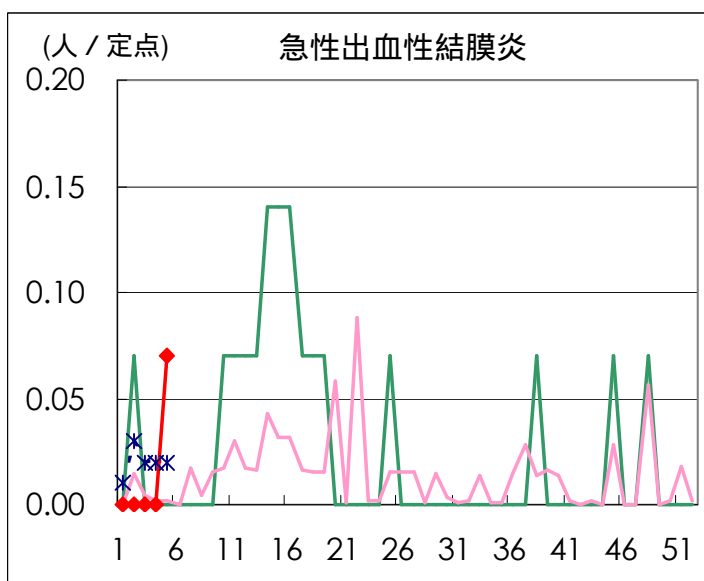
小児科・インフルエンザ定点



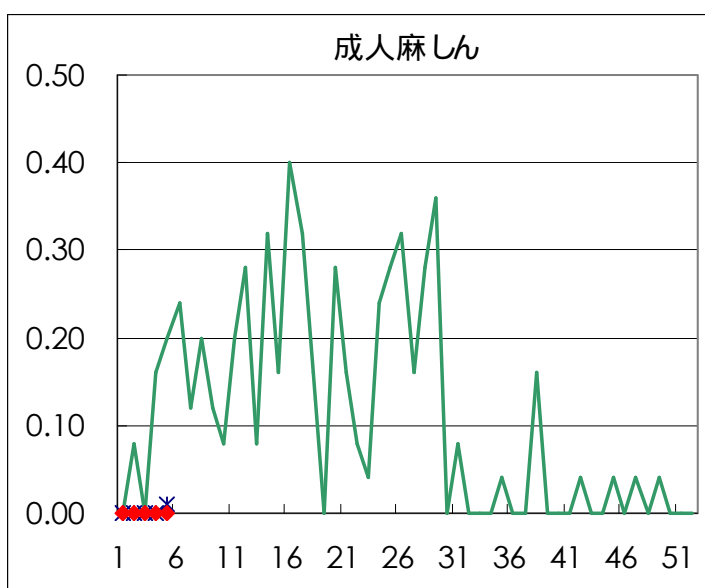
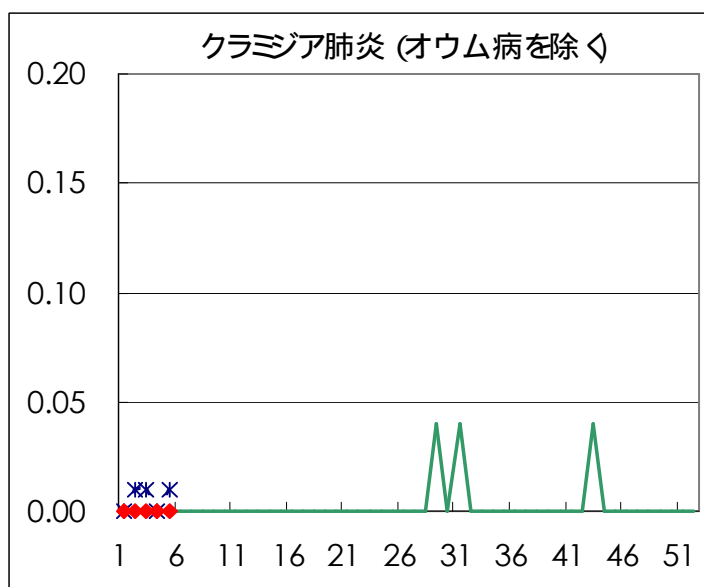
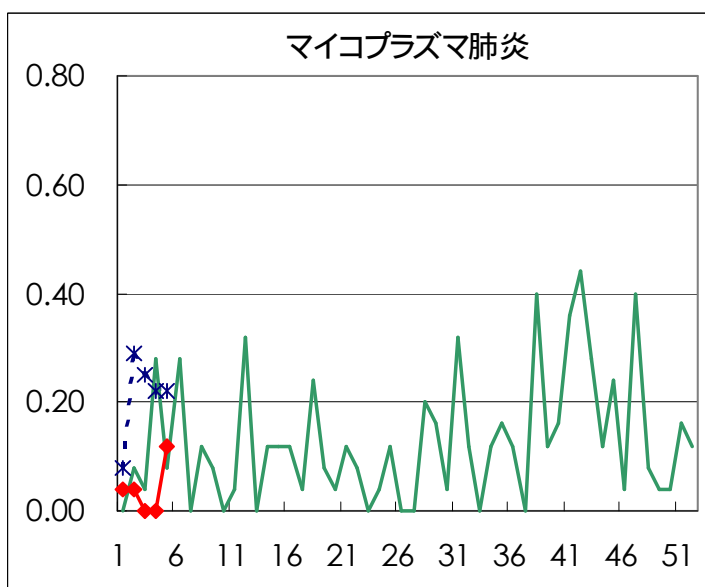
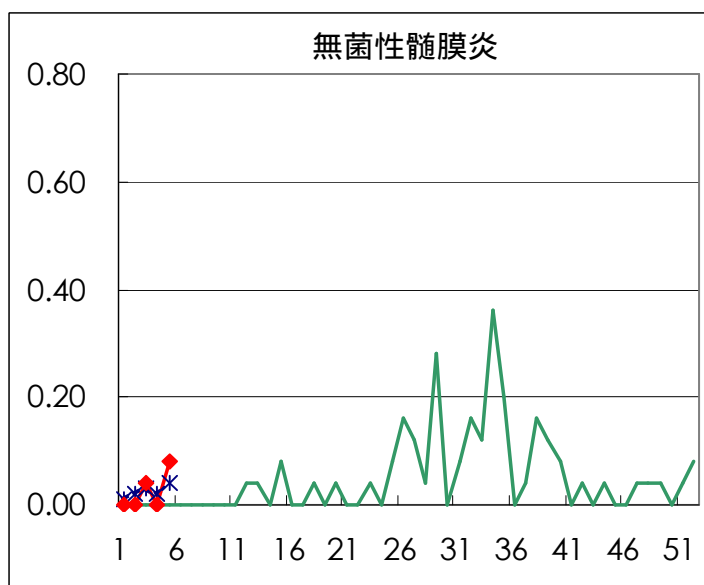
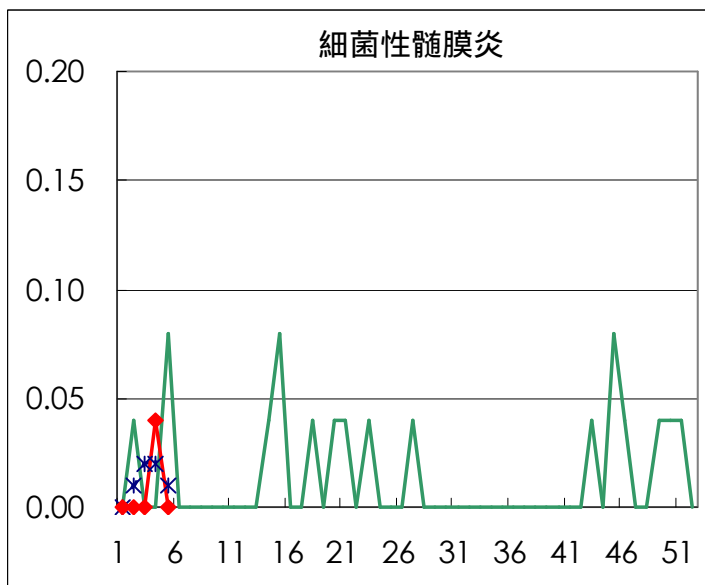




眼科定点



基幹定点



疾患別の定点医療機関数 (週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2003年50週～2004年5週)

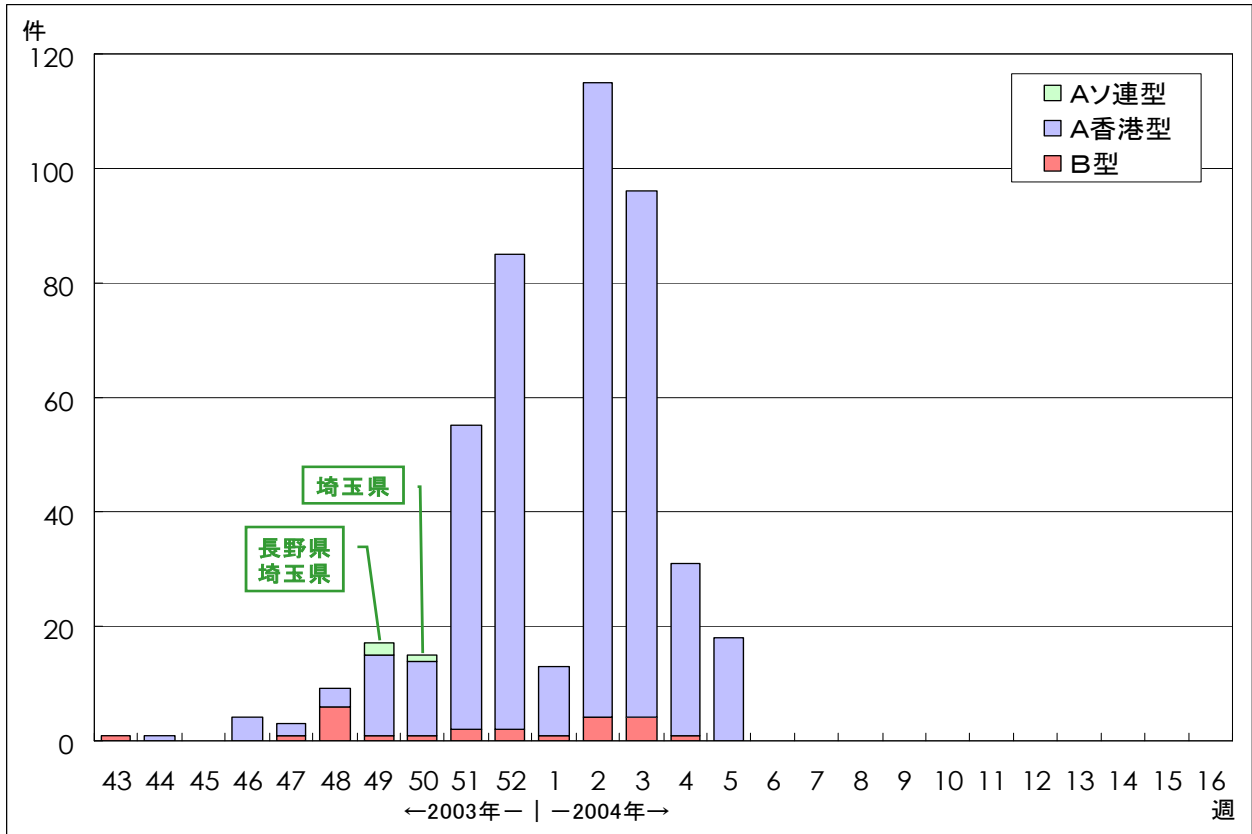
検出病原体・抗体		検体採取週							合計		
		2003年			2004年						
		50	51	52	1	2	3	4		5	
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型	1	20	10	1	3	26	54	30	145	
	インフルエンザB型							1		1	
	RSV			1		2		1	1	5	
	アデノ	2	6	6		2	1	4	1	22	
	エンテロ		2	1		3		1	1	8	
	ノロ	59	96	83	3	40	22	57	25	385	
	ロタ					1				1	
	単純ヘルペス										
	水痘・帯状疱疹		1						1	2	
	EBV		2						1	3	
	CMV	1	1	1		2				5	
	HHV6/7	2	2				1	1	1	7	
	ムンプス							2	1	3	
	麻疹										
	パルボB19		1	1		1	2			5	
	分離型別	ポリオ1	1								1
		ポリオ2	1								1
		アデノ1			1						1
		アデノ2					2				2
		アデノ3		2							2
		エコー13									
		エコー71									
コクサッキーA6											
抗体	デング										
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター										
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌		1	1						2	
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラマーゼ型										
	MRSAコアグラマーゼ型		1	4		3	6	1		15	
	MRSAコアグラマーゼ型			1						1	
	MSSAコアグラマーゼ型										
	溶連菌T-1型						1			1	
	溶連菌T-3型		1						1	2	
	溶連菌T-4型					1		1		2	
	溶連菌T-6型						1			1	
	溶連菌T-12型	1				2	2	1		6	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型										
溶連菌T-28型		1	1			2			4		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒	12	3	1		2				18	
	クラミジア抗体	141	54	26		31	21	19	17	309	
	クラミジア遺伝子	1		1		1	2		1	6	
	淋菌遺伝子		1	1		1				3	
	パピローマ	2	1	1		1	2	2		9	

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年50週～2004年5週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザ)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	115	30															145
インフルエンザB型	1																1
RSV			4													1	5
アデノ	1	1	3			3			1			4				9	22
アデノ1																1	1
アデノ2			1													1	2
アデノ3	1															1	2
エンテロ							1		1			2				4	8
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1						1											1
ポリオ2						1											1
ムンプス							1						2				3
ノロ						384										1	385
ロタ						1											1
単純ヘルペス																	
水痘・带状疱疹しん												1			1		2
パルボB19											4	1					5
カンピロバクター																	
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌						2											2

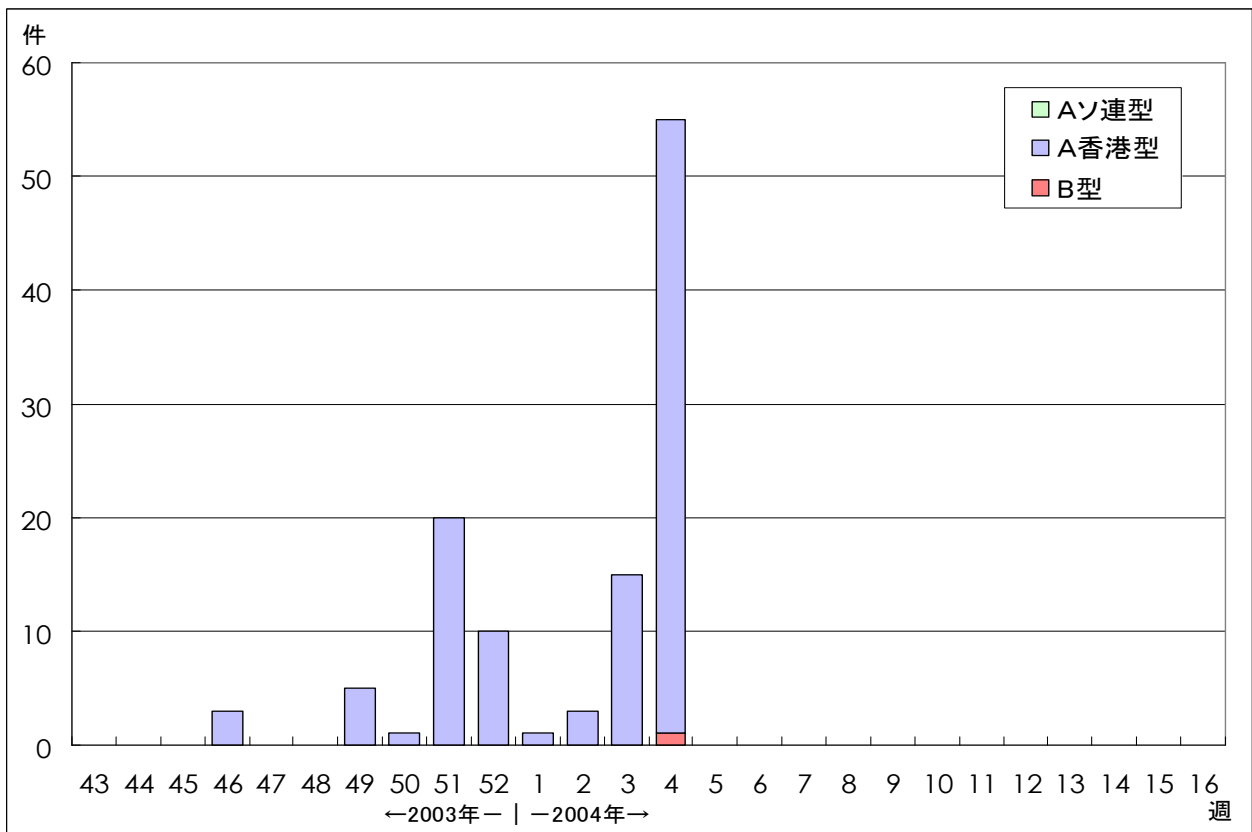
病原体グラフ（インフルエンザ）

2003-04シーズンのインフルエンザウイルス検出状況（全国）



IASR 病原微生物検出情報(2004年1月26日現在報告数)

2003-04シーズンのインフルエンザウイルス検出状況（東京都）



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

年齢階級別報告数 2004年 5週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	2	18			6	3			3
～1歳		52			44	10		3	27
1歳		185	1	2	127	39		2	32
2歳		193	1	6	87	25		4	3
3歳		257	2	8	86	28		5	
4歳		298	1	17	85	18		8	1
5歳		238		12	88	16		7	
6歳		221	1	9	56	9		16	
7歳		185		14	42	3	2	7	
8歳	1	214	1	7	37	4		4	
9歳		191		8	35	2		6	
10～14歳		984	2	8	98	3		5	
15～19歳		410		1	24				
20～29歳	1	271	1	5	189			1	
30～39歳		379							
40～49歳		237							
50～59歳		110							
60～69歳		62							
70～79歳		40							
80歳以上		7							
合計	4	4552	10	97	1004	160	2	68	66
先週比	-11	1081	-4	-30	-5	6	-3	5	2

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月								1	
～1歳								1	1
1歳		1		1	1			1	
2歳					3			2	
3歳		2	1	1	6				
4歳		1			6				
5歳					5				
6歳					5			1	
7歳					4				
8歳			1		5				
9歳				1					
10～14歳				2	2				
15～19歳				2	1				
20～29歳		1					2		
30～39歳							3		
40～49歳						1			
50～59歳							3		
60～69歳							2		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	5	2	7	38	1	10	6	1
先週比	-1	3	2	7	17	1	-2	-8	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 5週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		32			3	6		3	1	
中央区		47		7	40	11		2	3	
みなと	2	44	2	3	23	2		4		
新宿区		152		2	35	8		1		
文京		90			11	1			1	
台東		129	1	4	25	3		9		
墨田区		87			9	7	1		1	
江東区		128		3	11	3		1	1	
品川区		85		3	45	6		1	4	
目黒区		41		1	12			5	1	
大田区		165	4	8	73	12		4	3	
世田谷区		234		2	68	14		3	5	
渋谷区		89		3	52	3		1	3	
中野区		196		3	54	5		4	5	
杉並		140			48	1		2	2	
池袋		52			11	1		1	1	
北区		157		2	28	3		3	5	
荒川区		103		3	6	4			5	
板橋区		92		1	30	3				
練馬区		202		4	11	5			2	
足立		74		3	18	5		2	1	
葛飾		256		12	34	16		2	5	
江戸川		179	2	6	56	6		2	3	
多摩川		229		2	32	4		1	4	
秋川		126		1	16	3	1			
八王子		83		4	12			1		
南多摩		154			37	5		5		
町田		57			18	3			1	
多摩立川		92			24	1				
村山大和		157	1		3	2		2		
府中小金井		130		1	5	1				
狛江調布		97		2	16	3		2	3	
三鷹武蔵野		130			35	4		3	2	
多摩小平	2	264		8	57	7		2	4	
多摩東村山		131		7	46	2		2		
島しょ		128		2						

東京都合計	4	4552	10	97	1004	160	2	68	66	-
定点当り報告数	0.03	25.57	0.07	0.68	7.07	1.13	0.01	0.48	0.46	-

保健所別報告数 2004年 5週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田									45
中央区									110
みなと		1			1				82
新宿区				2			3		203
文京				1		2			106
台東			1						172
墨田区	1								106
江東区		1				1			149
品川区				6			1		151
目黒区				3					63
大田区				1					270
世田谷区	1			3					330
渋谷区				2					153
中野区									267
杉並									193
池袋	1					3			70
北区				2					200
荒川区						2			123
板橋区	1		1						128
練馬区				1					225
足立			1	4					108
葛飾				2				1	328
江戸川									254
多摩川			4	1					277
秋川				1					148
八王子				1					101
南多摩				1			1		203
町田									79
多摩立川				4					121
村山大和				3					168
府中小金井									137
狛江調布	1								124
三鷹武蔵野									174
多摩小平									344
多摩東村山						2	1		191
島しょ									130

東京都合計	5	2	7	38	1	10	6	1	6033
定点当り報告数	0.04	0.01	0.05	0.27	0.07	0.71	0.04	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 5週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		6.40			0.75	1.50		0.75	0.25	
中央区		11.75		2.33	13.33	3.67		0.67	1.00	
みなと	0.33	6.29	0.33	0.50	3.83	0.33		0.67		
新宿区		21.71		0.33	5.83	1.33		0.17		
文京		22.50			3.67	0.33			0.33	
台東		32.25	0.33	1.33	8.33	1.00		3.00		
墨田区		21.75			3.00	2.33	0.33		0.33	
江東区		32.00		1.00	3.67	1.00		0.33	0.33	
品川区		12.14		0.50	7.50	1.00		0.17	0.67	
目黒区		10.25		0.33	4.00			1.67	0.33	
大田区		16.50	0.44	0.89	8.11	1.33		0.44	0.33	
世田谷区		26.00		0.25	8.50	1.75		0.38	0.63	
渋谷区		17.80		0.75	13.00	0.75		0.25	0.75	
中野区		28.00		0.50	9.00	0.83		0.67	0.83	
杉並		20.00			8.00	0.17		0.33	0.33	
池袋		8.67			2.20	0.20		0.20	0.20	
北区		31.40		0.50	7.00	0.75		0.75	1.25	
荒川区		34.33		1.50	3.00	2.00			2.50	
板橋区		13.14		0.17	5.00	0.50				
練馬区		33.67		0.80	2.20	1.00			0.40	
足立		14.80		0.75	4.50	1.25		0.50	0.25	
葛飾		51.20		3.00	8.50	4.00		0.50	1.25	
江戸川		35.80	0.50	1.50	14.00	1.50		0.50	0.75	
多摩川		57.25		0.67	10.67	1.33		0.33	1.33	
秋川		42.00		0.50	8.00	1.50	0.50			
八王子		27.67		2.00	6.00			0.50		
南多摩		38.50			12.33	1.67		1.67		
町田		19.00			9.00	1.50			0.50	
多摩立川		18.40			6.00	0.25				
村山大和		52.33	0.50		1.50	1.00		1.00		
府中小金井		32.50		0.33	1.67	0.33				
狛江調布		24.25		0.67	5.33	1.00		0.67	1.00	
三鷹武蔵野		26.00			8.75	1.00		0.75	0.50	
多摩小平	0.67	66.00		2.67	19.00	2.33		0.67	1.33	
多摩東村山		32.75		2.33	15.33	0.67		0.67		
島しょ		64.00		2.00						

東京都合計	4	4552	10	97	1004	160	2	68	66	-
定点当り報告数	0.03	25.57	0.07	0.68	7.07	1.13	0.01	0.48	0.46	-

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 5週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと		0.17			1.00			
新宿区				0.33			0.50	
文京				0.33		2.00		
台東			0.33					
墨田区	0.33							
江東区		0.33				1.00		
品川区				1.00			0.17	
目黒区				1.00				
大田区				0.11				
世田谷区	0.13			0.38				
渋谷区				0.50				
中野区								
杉並								
池袋	0.20					3.00		
北区				0.50				
荒川区						2.00		
板橋区	0.17		0.17					
練馬区				0.20				
足立			0.25	1.00				
葛飾				0.50				0.25
江戸川								
多摩川			1.33	0.33				
秋川				0.50				
八王子				0.50				
南多摩				0.33			0.33	
町田								
多摩立川				1.00				
村山大和				1.50				
府中小金井								
狛江調布	0.33							
三鷹武蔵野								
多摩小平								
多摩東村山						2.00	0.33	
島しょ								

東京都合計	5	2	7	38	1	10	6	1
定点当り報告数	0.04	0.01	0.05	0.27	0.07	0.71	0.04	0.01

< 感染症豆知識 >

風 疹

RNA 系風疹ウイルス感染症である。潜伏期間は 2～3 週間、春から初夏にかけ多くみられる。症状は、発熱と殆んど同時に淡紅色の粟粒大丘疹が顔から体幹に、そして全身に広がる。粘膜症状は先ずない。感染期間は発疹出現 7 日前から出現後 5 日間と考えられている。特異な症状として耳介後部、後頭部及び頸部リンパ節の腫脹である。発疹は融合せず約 3 日程度で消失する。通常は数日で治癒する予後良好の疾患で、時に成人では（女性に多い）関節炎、脳炎、血小板減少性紫斑病を合併する事があるが予後は良好である。

風疹について最も重要となる問題は、母親の妊娠中における感染により起る胎児の「先天性風疹症候群」CRS である。因みに、妊娠 1 ヶ月以内の感染で約半数に、2 ヶ月以内で 3 割強の胎児に異常が生じる。難聴、白内障又緑内障、先天性心疾患を 3 徴候とするが、妊娠初期に罹患するほど重症且つ多彩である。

我が国における風疹の流行は、平成 4 年～5 年迄約 5 年毎の周期でみられたが以後バツタリ途絶えている。当然抗体保有者が減少し後の思わぬ大流行も危惧される。平成 6 年に予防接種法が改正され、生後 12 ヶ月から 90 ヶ月迄の小児、及び男女を問わず中学生を対象として定期のワクチン接種が施行されているが、この中学生の接種率が低いことは問題である。

また、平成 12 年には昭和 54 年から 62 年生まれの男女にも予防接種法が適応されたが、なかなか一般的でなくワクチンの接種率は低い。

とにかく一人でも多くのワクチン接種が望まれるのである。

（文責・影山公一）